

元気いっぱい、山梨の農業!!



シクラメンの手入れをする三浦さん

恵まれた自然条件と、先人のたゆまぬ努力が生み出した生産技術を活用し、生産量日本一を誇るブドウ、モモ、スモモなどの特色ある産地が形成されている山梨県。県では、農業が地域の魅力の原動力となるよう、さまざまな施策を展開しています。

農業の未来を担う若い力を育成

農業のさらなる発展には、担い手の確保が重要です。そこで今回は、日頃から山梨の農業を応援している、やまなし大使の萩原智子さん、さんが専門学校山梨県立農業大学校を訪ね、担い手の育成に取り組む様子をレポートします。

幅広い学びが夢への一歩

北杜市長坂町にある県立農業大学校は、県内唯一の農業専門学校。2年間にわたって果樹、野菜、花きの基本的な栽培技術から、流通、販売に至るまで、幅広く農業について学べます。

この日は、県立農林高校の生徒が農大を訪れ、連携授業が行われました。温室では、種から育てたシクラメンの前に、農大生が高校生たちを指導しています。

「僕の実家は花き農家で、農大には花の栽培技術を身に付けに来ましたが

果樹の実習をしていくうちに、将来は実家のある富士北麓地域で生食用ブドウを作りたいと考えるようになりました」と園芸学科2年生の三浦さん。萩原さんは「応援するよ。頑張つてね!」と、力強いエールを送りました。

青空の下

収穫の喜びを満喫

野菜ほ場では、大根、白菜などが収穫の時を迎えています。自宅マンションで家庭菜園をしているという萩原さんも、「ここにいるだけで、野菜の良い香りがしてくるね」と感動した様子。



人生初の山芋掘りに挑戦。パイプを使って育てた山芋は真っすぐ

将来を見据え 農業と向き合う学生たち

連携授業で学んだことや
農業への思い、将来の夢。
山梨の農業を支えていく若い力に
萩原さんがインタビューしました。



農林高校3年
齋藤 龍土さん

農大での連携授業では、先輩たちが優しく教えてくれます。知識も技術もある先輩たちの姿に、僕もこんなふうになりたいと夢が膨らみ、農大進学を決意しました。実家は非農家ですが、農大卒業後には、早川町で畑をしている祖母の跡を継ぎ、農地を広げながらジャガイモを中心に栽培していきたいです。



農林高校3年
桑原 理紗さん

植物を育てることが好きなので、農林高校に進学しました。一生懸命世話をすれば、立派な作物が収穫でき楽しい反面、天候が悪くても日々の手入れを怠ってはいけないなど、厳しい面も知りました。連携授業では、高校よりもさらに専門的なことまで丁寧に教えていただけるのでとても勉強になります。



トラクターに乗る小山さん。農大には練習コースがあり、農耕車の運転免許が取得できる



高校生に白菜の収穫方法を教える浅川さん



農業大学校
園芸学科2年
浅川 楓斗さん

農業の魅力は、自分が注いだ愛情に、野菜たちが応えてくれること。大きく味の良い作物が取れたときは、頑張った良かったなどと思います。農大では、志を同じくする大切な仲間ができました。卒業後は実家で父と一緒に農業をやります。ここで学んだことを生かして、新しい品種や珍しい品種を取り入れるなど、時代に合わせた作物を育てていきたいですね。



農業大学校
園芸学科2年
小山 愛実理さん

農大で学ぶことで、視野が広がり、夢が膨らんだ反面、自分が怠けると、すぐにその結果が出てしまう怖さも学びました。卒業後は野菜を作る傍ら、野菜ソムリエの取得に挑戦し、将来的には野菜をお菓子やジャムに加工して、野菜のおいしさをいろいろな形で伝えていきたいと考えています。

① スマートフォンまたはタブレットに「Layar」のARアプリをダウンロード(無料)② アプリを起動③ 右の写真に گذاした後、タップすると動画が再生されます。

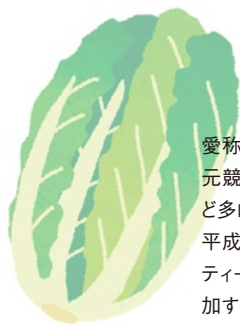


動画で見よう! ハギトモさんの農大レポート

「これから高校生と一緒に白菜を収穫します。まずは僕がやるので、まねしてください」。園芸学科2年の浅川さんは、慣れた手つきで高校生に収穫方法を教えています。萩原さんも大きな包丁を手に立派な白菜を収穫。うれしそうに両手で抱え上げました。収穫作業を終えた学生たちの顔には、光る汗が。その表情は、農耕者としての誇りと収穫の喜びで輝いていました。

やまなし大使

萩原智子さん Tomoko Hagiwara



愛称「ハギトモ」。1980年4月13日生まれ。甲府市出身。シドニーオリンピック出場、元競泳日本代表。現在は日本水泳連盟理事。テレビ出演や水泳教室、講演活動など多岐にわたる活動を行っている。

平成26年、記録的な大雪で被害を受けた山梨の農業を支援するため、復興チャリティーを立ち上げた。プロジェクト終了後も、山梨県のフルーツのトップセールスに参加するなど、日頃から山梨の農業を応援している。

農業はとつても
すてきな仕事
生き生きと
取り組む学生に
明るい未来を
感じました

若い人たちが生き生きと農業に取り組んでいる姿に、素直に感動しました。皆さん、本当に良い顔で、楽しそうに作業していましたね。その姿には未来への希望を感じましたし、「新しいことに挑戦したい」「農業を変えていきたい」と、目を輝かせながら話してくれるのを聞いてみると、私も頑張らなくちゃと、刺激をもらいました。

今日は見事な白菜も収穫させてもらいましたが、あの白菜、だいたい3キロあるそうですね。ちようど、出生時の赤ちゃんくらい。だからというわけではないのですが、農業って、子育てと似ているように感じます。「愛情を注げば、野菜は応えてくれて良い物ができる。そこが魅力です」という学生さんの言葉が心に響き、すてきな仕事だとあらためて思いました。もちろん、そこには苦労や厳しさもあるのですが、山梨の農業には先人が培ってきた技術があるので、その継承者としての誇りを持つて、ぜひ夢をかなえてほしいです。

県立農業大学校では
山梨の農業を支える人材を育成しています

就農の入り口としての役割

農業従事者の高齢化に伴う担い手不足が全国的に問題となっており、山梨でもその育成は非常に大きな課題です。

本校では、2年間で農業生産および経営管理技術の基礎を習得する養成科、より高度な技術を習得する専攻科を設置しています。また、再就職先として就農を目指す方に向けた研修を行うなど就農の入り口としての役割を果たしています。

時代の流れに対応しながら
就農をサポート

今や農業は農家の子弟だけが継ぐ時代ではなく、農業生産法人へ就職して就農を目指す普通高校高校出身者が増えていますので、J Aなど関係機関と連携しつつ、就農



県立農業大学校
加藤 肇 副校長

をサポートする環境を整えています。また、カリキュラムに、農業現場への派遣研修を組み入れ、地域の農家と顔なじみになることで、スムーズな農地確保や、「農大の学生なら」と地域で受け入れてもらえる関係づくりを後押ししています。

農業を取り巻く状況は急速に変化しており、常に学ぶ姿勢が求められます。学生たちには、本校での学びや同級生とのつながりを土台に、山梨の農業を担う農業者として大きく羽ばたいてほしいと願っています。

専門学校 山梨県立農業大学校 平成28年度 入学生募集 後期一般入学試験を実施します。

試験日 2月16日(火)
出願期間 1月25日(月)~2月5日(金)
受験資格 高等学校または中等教育学校を卒業した者(平成28年3月卒業見込みの者を含む)など

試験内容
【養成科】国語総合(古文・漢文は除く)、数学I、面接、小論文
【専攻科】面接、小論文 など
※詳細はホームページでご確認ください。



北杜市長坂町長坂上条3251
TEL 0551-32-2269 FAX 0551-32-2034

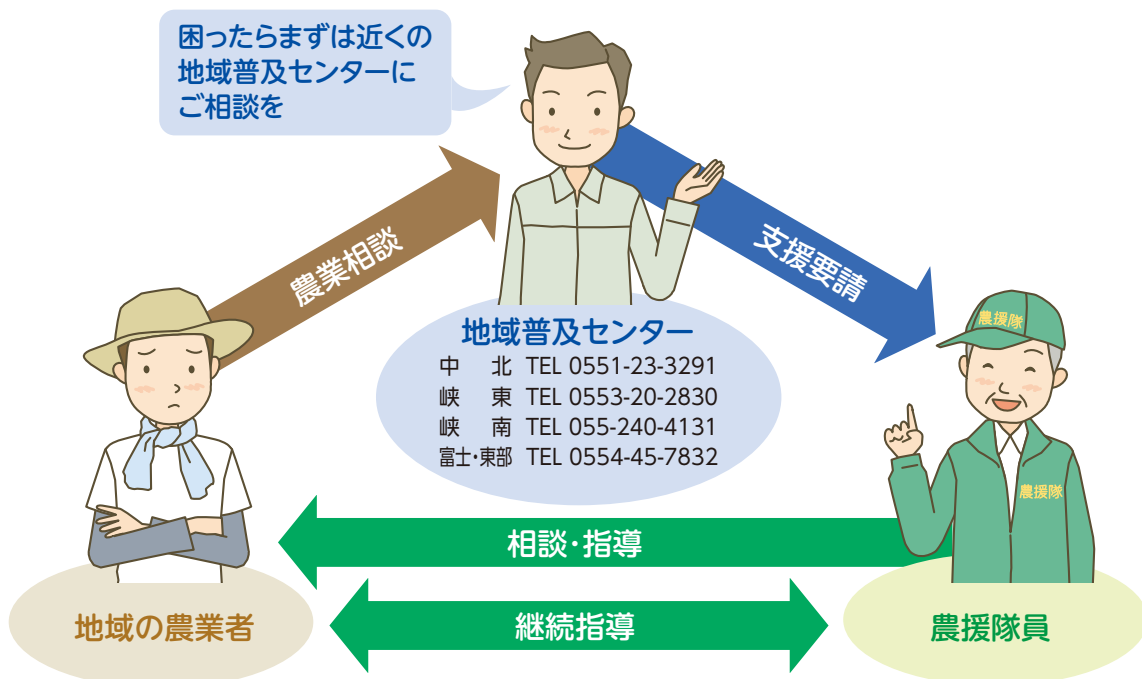
山梨農大

検索



農援隊を「活用」ください

農業をしてみたいけれど何から始めたらいいの？初めて育てる作物の手入れの方法が分からない。そうした声にお応えするため、県では、農業を始めたばかりの方や、自給的な農家の方などに、基礎的な技術指導や営農相談を行う「農援隊」を設立しました。



山梨の農業の発展のために
 今まで培ってきた知識や技術を伝えます



農援隊員
 (峡東地域果樹栽培担当)
 丹沢 隆さん

農援隊には、ベテランの農業者が集まっています。私自身は、農業改良普及の実務や果樹研究などに県職員として幅広く携わってきました。退職後は専業農家となり、以前から夢だったモデル的な果樹経営を実践する傍ら、若い人たちに技術や経営を教えたいという思いもあり、農業大学校や大学などで講師を務めたり研修生・新規就農者を受け入れたりしてきました。

初めて農業をするのは大変です。技術や資本などが必要ですし、教科書はあっても、その通りに育たないこともよくあります。ですから、今までの経験から得た知識や技術などを生かし、農援隊員として理論と技能をしっかり伝えていきたいと思っています。



農業は毎日が勉強
 経験豊富な
 農援隊の存在は
 ありがたいです

相談者
 穂原 敬さん

生家が農家なので、退職に当たり、農業に専従することになりました。実際、日進月歩で進んでいく農業に向き合ってみると、分からないことが次々と出てきました。今回、農援隊が設立されたことで、経験豊富な隊員から確かな技術や、これからの経営の指針になる事柄を教えてもらえるかと期待しています。

モモの苗木の植え付けについて
 丹沢さんから指導を受ける穂原さん





農地中間管理機構が農地の貸借を公的に仲介

農業を始めたい、経営規模を拡大したい、という農地を「借りたい」方と、規模を縮小したい、農地を相続したけれど耕作する人がいない、という「貸したい」方を、山梨県農地中間管理機構がつないでいます。

**農地は農業経営の基盤
信頼できる機構から借りることで
安心して農業に打ち込めます**

独立の際、大きな壁になるのが、どうやって農地を確保するかということ。実績や後ろ盾が無いと大変です。私の場合は、ありがたいことに農業委員さんの後押しもあって土地を借りることができましたが、その後、農地を拡大するまでには至りませんでした。

3年目を迎えた今年、農地中間管理機構に仲介してもらい農地を広げることができました。果樹は長期間での賃貸契約になりますから、公の機関に入ってもらうことで、契約上のトラブルが回避でき、基盤が安定するという期待感があります。また、万が一不測の事態が起きても、次の担い手を見つけてもらえるといった安心感もあります。実際、とても良い農地を借りることができ、感謝しています。

今後は、より生産性の高い畑を作るとともに、巨峰やピオーネなどの黒系の大玉品種を中心にしながら、真摯にやっていきたいと考えています。



三浦 誠さん・香穂子さん

就農を目指し、岩手県釜石市から家族で移住。農業生産法人での2年間の研修を経て、平成25年4月より独立。地元農家から借りた甲州市塩山の玉宮、千野の農地1町2反で営農している。

【問い合わせ先】 山梨県農地中間管理機構 TEL 055-232-2760 FAX 055-223-2117 [山梨 農地機構](#) [検索](#)



山梨の四季を通じた果樹農業を世界農業遺産に!

峡東地域の果樹栽培は、地域住民の生計や文化と密接に結び付き、桃源郷とも呼ばれる美しい農村景観を形成しています。

この農業システムを末永く保存し、地域の活性化を図っていくため、県は、山梨市、笛吹市、甲州市、関係団体と「峡東地域世界農業遺産推進協議会」を設立し、世界農業遺産への認定に向けた取り組みを進めています。

世界農業遺産

国連食糧農業機関(FAO)が認定。世界的に重要な農業システムを認定し、その保全と活用を目的とする国際的なプロジェクト。



ブドウ、モモをはじめとした、四季を通じた果樹農業が行われている峡東地域



【問い合わせ先】 農政総務課 TEL 055-223-1583 FAX 055-223-1585



新しいブランド農産物の育成を目指して

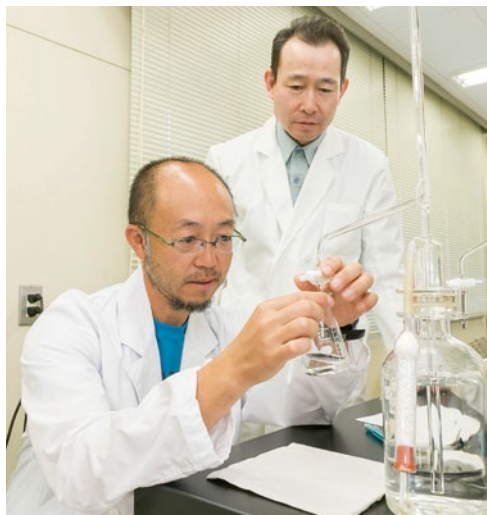
県では、食べやすさ、おいしさ、機能性成分の含有量など、消費者ニーズに対応するとともに、農家にとっても、作りやすく、収入増につながる、高品質なオリジナル品種の開発と普及を進め、農産物のブランド化に取り組んでいます。

長い年月を経て開発する新品种を産地のブランド化につなげたい

果樹試験場では、ブドウ、モモ、スモモ、サクランボの新品种開発に取り組んでいて、これまで20種類を超える品種を登録しました。最近、流通が始まったのが、平成25年に登録されたモモ『夢みずき』。大きく、赤く、甘みも強い、今注目の品種です。

モモの品種改良は、開花時期に他の品種の花粉で受粉させることから、毎年1500花ほどに受粉して、苗木にまで育つのは、そのうちの200花程度。それが3〜4年後に実をつけたところで、「大きさ」「甘さ」「色づき」「収穫時期」など特性を見極め、有望な物を選びさらに育てます。幾つものステップを経て新品种が登録されるのでとても時間がかかります。『夢みずき』は登録までに13年。平成23年に試験的に頒布された苗が、昨夏大きな実りをもたらし、市場で話題となり、やっと努力が報われたんです。

質の高い県オリジナル品種を開発することで、産地のブランド化につながることを期待できます。ですから、これからも農家や消費者のニーズを把握し、開発に取り組んでいきます。



果樹試験場育種部
新谷 勝広 主任研究員(左) 上野 俊人 部長(右)



果樹試験場が開発した県オリジナル品種「夢みずき」(右上)、「甲斐のくろまる」(左上)、「サマーエンジェル」(右下)、「富士あかね」(左下)

【問い合わせ先】 果樹試験場 TEL 0553-22-1921 FAX 0553-23-3814

山梨 果樹試験場

山梨の美味しい農産物を全国、そして世界の食卓へ

県では、「やまなしブランド」を確立し、恵まれた自然環境や高い技術により生み出される優れた農産物の販路を拡大するため、農業関係団体と連携して、国内外の小売業者・流通関係者などとの関係構築や、プロモーション活動を行っています。国内外において産地間競争が激しさを増す中で、今後も、消費者や販売者などのニーズを踏まえ、効果的な販売対策を展開していきます。



知事を筆頭に国内外でトップセールス

【問い合わせ先】 農産物販売戦略室 TEL 055-223-1603 FAX 055-223-1604